

【9月9日から、クラウドファンディングに挑戦します！】

～お世話になっている皆さまへ～

今日は私から重要なご報告があります！

タイトルの通り、9月9日10時から11月6日23時まで58日間、クラウドファンディングに挑戦します！
プロジェクトを実現したいので、ぜひ、ご支援してください。

- ・プロジェクトのタイトル

ヴァーチャル顕微鏡で病理標本をデジタル化して、世界へ学習提供する！

- ・公開後のURL

<https://readyfor.jp/projects/103977>

- ・目標金額

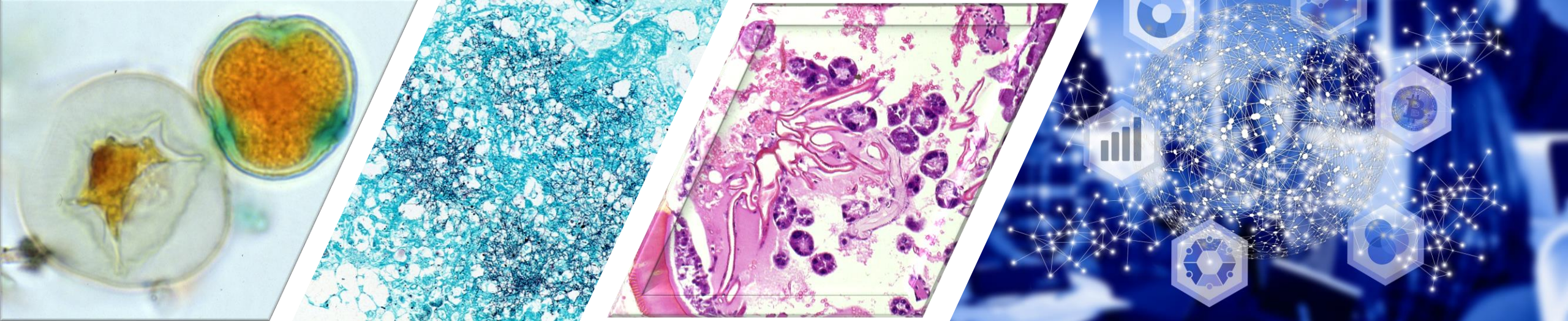
1,500万円

- ・プロジェクトの概要

顕微鏡標本をヴァーチャル顕微鏡でデジタル化します。そのデータを世界中の医療者、ことに病理医に貴重な情報として利用されるようなシステムをつくります。支援者には1年間アクセスできるようにします。

プロジェクトが開始したら改めて皆さまへお伝えしますので、
その際には、プロジェクトの「拡散」と「ご支援」をぜひよろしくお願いします！

プロジェクトリーダー：堤寛（つつみゆたか）より



病理標本ミュージアムサイト

ここにアクセスすれば、数多くの貴重なケースがある。

(連結不可能匿名化され、個人の特定はできません)

これは、すごい！！



The background of the image is a large, multi-tiered metal cabinet filled with numerous small drawers, each containing pathology specimens. The drawers are organized in a grid-like fashion, with many drawers open, revealing the contents inside. The overall scene suggests a vast collection of medical samples stored in a laboratory or archive.

新プロジェクト

**病理医が40年間に蓄積した標本約1万枚以上
この病理標本からデジタルデータ化する**

新構想 → 病理標本ミュージアムをつくる！！

未来構想・データ化した標本の活用（堤寛）

ヴァーチャル化する標本セットは以下の内容を計画しています。

- ① 医学生用標本セット（約200枚）
- ② 病理専門医試験用標本セット（約250枚）
- ③ 感染症標本セット（約400枚）
- ④ 分野別標本セット（消化管、呼吸器、腎・泌尿器、婦人科、乳腺、皮膚領域など）（約4,000枚）
- ⑤ 細胞診標本セット（約200枚）

病理標本は3～5ミクロンの厚さに薄切してあり（面が平坦なため）、2次元のスキャンが行われます。一方、細胞診標本には細胞の重なりがあるため、部位を選んで3次元のスキャンが必要となる場合があります（深さ方向のスキャンを要します）。

標本に付加する簡潔な情報を英語化します（個人を特定する情報は含まれません）。データ化された顕微鏡標本は、わが国のみならず、世界中の医療者、ことに病理医に貴重な情報として利用されると強く信じます。システムの維持・管理の目的で、アクセスは有料とさせていただきますが、条件によっては無料閲覧を可能とするようにも工夫します。

ヴァーチャル化された系統的な病理資料（ヴァーチャル標本ライブラリ）は現在、ほとんど例がありません。とくに、日本固有の疾患の病理像を世界中の医療者、とくに専門家（病理医）に閲覧していただけることは、学術的価値が高いと信じます。医学生に病理診断に興味をもっていただき、病理医を目指してもらえたら、病理医不足の解消にもつながります。